

障害児の母親交流会 防災の知識など学ぶ

春日井

発達障害や知的障害のある子どもの母親たちでつくる春日井市のボランティア団体「桃山会」による、交流イベント「ももフェス」



参加者の前で話す桃山会の
中村優子代表―春日井市王
子町の第一希望の家で

が、同市王子町の発達支援施設「第一希望の家」で開かれた。

桃山会は七年前に発足し、毎月第二、第四木曜日に市総合福祉センター（同市浅山町）で、親同士が悩みを話し合い、情報交換する場を設けている。

ももフェスは今年一月から始まり、今回で三回目。バルーンアートなど親子で楽しめる催しや、非常時に役立つ知識の勉強会を開いている。

十一日は母親十六人が参加し、春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会の後藤一明代表（七巴）らを講師に、防災について学んだ。非常食を試食し、実際に自分の子どもが食べられるか味や食感を確認した。そのほか、身近な物の防災グッズ作りを体験した。

参加した女性（四）は「被災時に役立つ情報が満載でとてもありがたいです」と話していた。

（小林大晃）